



企業名	群馬労務サポート	作成年月日	2021/5/28
-----	----------	-------	-----------

将来構想のキャッチフレーズ

お客さんに沢山「ありがとう」と思ってもらえる社労士事務所

これまで
どうだった？

資源	ビジネスモデル	提供価値（誰に・何を）
人・知識	会社との顧問契約をし、毎年、従業員の人数に応じた顧問料を収益とする	毎年定期に発生する労働保険・社会保険の手続きを会社を代行しておこなうことで、会社の業務負担を減らし、本業に集中していただくことができる

課題

労働保険・社会保険の基本的な手続きはAIの導入等によっていずれは会社で簡単にできるようになる。よって手続き等をメインに収益をあげている社労士事務所はいずれ衰退していくと考えている

2026年には
こうしたい！

資源	ビジネスモデル	提供価値（どんな相手に・何を）
人・知識	今までの手続き主体の顧問料体系だけでなく、色々な窓口からサービスを行えるような料金体系を作成し、それに併せて人材育成も行う	確定拠出年金の導入サポート等、コンサル業務を通して既存のお客様だけでなく、新規のお客様へサービスをしていく

外部環境

手続き業務のニーズはだんだん薄れていき、どんどん法改正が行われる中、労務関係に本当に困った時の相談力や、提案力、実行力・コミュニケーション力が会社から求められる時代になると考えている

2026年に向けていまからどうするか

手続きチームとコンサルチームに徐々に分けていく
確定拠出年金導入サポート開始
来年に社労士法人化
自分も含めた事業所内でキャリアを共有することによって、スタッフ全員のサービス能力の底上げ